

北国にTAの花を咲かせませんか 「TA岩手・盛岡教室」



准教授
本部(岩手)・インストラクター
大澤 諄子

福井達雨著「僕アホやない人間だ」という1冊の本が私の人生を決めました。京都で小児科の看護師をしていた私は、本に感激し、滋賀県にある知能に重い障害をもつ子どもの施設「止揚学園」で実習しました。そして「給料はいりません。自分の生活は自分でなんとかしますから」と強引に居座りました。昼は止揚学園、夜と休日は近くの医院で働き1年後に職員になりました。保育士の資格も取り看護短大時代からの夢がかないました。止揚学園での7年間が私の宝です。「目に見えるものより目に見えないものを大切に」歩む止揚学園の生き方が私の生き方の原点です。岡山で育ち関西12年、盛岡に住んで30年、特定社会保険労務士が私の本業です。「匂いやさしい百合の・・・」北上夜曲で有名な北上川に沿って駅から車で5分のところに私のTA教室があります。岸辺の桜並木は今が見ごろです。北国は春が遅い分百花繚乱で梅や桜の花が一斉に花開きます。北国に美しいTAの花を咲かせませんか!

TAとの出会いは、1996年7月のTA基礎コースです。私が交流分析士2級講座を初めて開いたのは2006年3月です。10年の準備期間が必要だったといえます。月1回全7回42時間、定員10名が初心者の私にはベストのようです。翌年3月「TA岩手・盛岡教室」の看板をいただきました。今年度は来年の予約者も出て14名でスタートしました。ところで、教室運営をする上で一番頭が痛いのは集客です。新聞に3行広告をこまめに出し、福祉・教育関係者へダイレクトメールを出しています。採算は全くとれませんが、新しい出会いにワクワクします。「3年前からいつか行きたいと思っていましたが、今年やっと実現できました」その一言で報われます。キャッチコピーを工夫して封筒や名刺に「講座開設中!」と年中宣伝しています。

さて、8年前から「体験に基づいた心のカウンセリング講座」を主宰しています。福祉施設のケアの向上を目的に月に1回、実技訓練と感受性訓練の2コース設

ていましたが、年々各20名の集客は厳しくなりTA教室開設の年から1つにしました。ファシリテーターのS先生の魅力で8年参加の方もいて、リピーターが多いのが特徴です。今年度はカウンセリング講座からTA教室に、またその反対に3名の移動がありました。私は二つの講座に誇りを持っています。第1回のTA心理カウンセラー養成講座に参加させていただいたことで必要性を再認識しました。今、時代のキーワードは心の健康です。TA教室を通して社会貢献できることが私の喜びです。

思えば15年前に産業カウンセラーの勉強を始めたことが心理学にはまるきっかけでした。産業カウンセラー普及のために事務局を立ち上げのめり込んだ日々、その延長としてのハロワークでの相談員・・・そして私はカウンセリングの力不足を感じ、S先生の門をたたきました。私のこれまでの全ての体験がTA教室に活かされています。TA教室は実に楽しいです。受講者の皆様の貴重な人生体験を重ね合わせ、双方向でのグループのお力を借りての学びは、たくさんの気づきを与えてくれます。教えることが最良の学びです。新しい出会いは人生を豊かにしてくれます。最後に昨年の7月、川上由美准教授の出前講座は130名に感動を与えました。これまで東北にTAの種まきをして下さった折原理事長はじめ、私がTAを通してお出会いした全ての方々に心より感謝申し上げます。



